

# シラスウナギに 無事に変態しました！

PICK UP PRESS RELEASE

水産総合研究センターは、今年3月に実験室生まれの親ウナギからふ化仔魚を得て「ウナギの完全養殖」を達成しましたが、その後、この仔魚たちが順調に成育し、8月5日に最初の一尾が無事、シラスウナギに変態しました(写真1)。現在も、続々とシラスウナギに変態しています。

これまでの飼育試験では、仔魚がシラスウナギに変態するまでの最短記録はふ化後153日でしたが、今回の一尾はこれより約3週間早く131日でシラスウナギになりました。飼育期間の短縮によって生残率の向上が期待されるため、今回の成



写真1. シラスウナギに変態した完全養殖ウナギ第1号

果によって人工ウナギ種苗の量産化に一步近づいたと言えます。

今後は、飼育試験を継続してシラスウナギまでの生残率を調査するとともに、これらを親とした量産技術の開発に取り組んでいきます。

当センターでは、2002年に卵からシラスウナギまでの飼育に成功し(図、緑色の実線)、さらに10年には、人工親魚から得た卵をふ化させて「完全養殖」に成功しました(図、

青色の実線)。今回は、完全養殖ウナギの仔魚がシラスウナギに変態したものです(図、赤色の実線)。

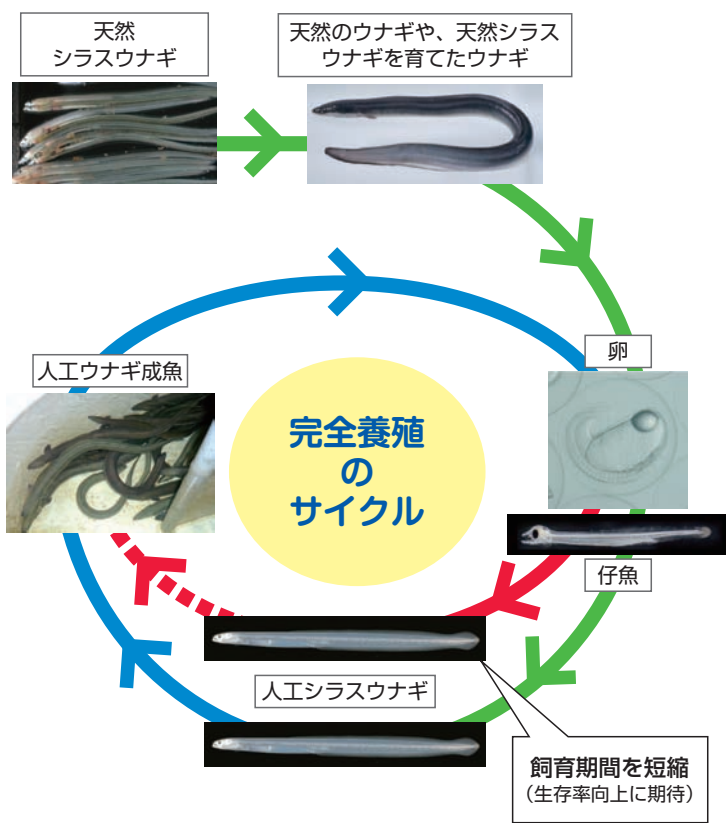


図. ウナギ完全養殖サイクルと今回成果の位置づけ



写真2. 現在はクロコに成長しています